

● 県内初の貿易港 ●

糸崎港



アヤメちゃん、糸崎港に行ったことあるかろう？



去年、豪華客船のふじ丸が入港したとき、お父さんと見学に行きました。糸崎港には、あんなに大きな船がとまれるんですね。



▲昨年5月、全長167mのふじ丸が入港



糸崎港は地形や気候などの条件に恵まれた数少

ない港で、約1,800年も前から盛んに利用されていたん

じゃよ。江戸時代の終わりごろには大きな外国船も来るようになって、糸崎港の松浜には大型船との連絡に使う小船がとまる港もできたんじゃ。外国人と話ができる人を育てるため、英語を教える学校もできたんじゃよ。



糸崎小学校でそんな石碑を見たことがあります。



▶三原洋学所の石碑



三原洋学所跡の石碑じやな。県内で初めてイギリス人の教師を招き、本格的な英語を教えた中四国でも有数の学校だったんじゃ。残念なことに明治初期に広島に移転してしまっただがの。



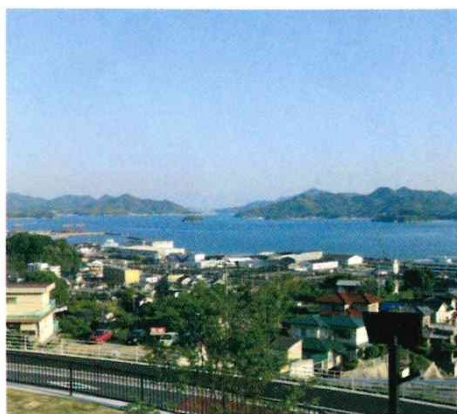
糸崎港が立派だといっても、広島や福山の港のほうが大きかったのでしょ？



いやいや。国から県内初の貿易港に指定され、最も栄えた明治時代の終わりごろには、横浜、神戸、大阪、門司、長崎に続く、日本で6番目に取引額が大きい貿易港だったんじゃよ。鉄道が開通すると、周りに工場も建ち、蒸気機関車など工業製品の輸出



にも利用されたんじゃ。これからも糸崎港に世界から大きな船が入港してほしいな。



▲糸崎港の全景



そうじゃな。世界の人の美しさを知ってほしいもんじゃ。